

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1.理念に基づく運営			
1.理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>入居者様に着眼する。業務に集中する。朝日苑の和を大切にする。この3つのキーワードを大切にして、サービスに取り組みたい。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>今後も継続していく。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>		
2.地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>地域のより多くの皆様と日常的に交流を図っていきたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>今後さらに交流の機会を増やし積極的に地域に根ざしたサービスに努めたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	入居者様の尊厳を守り普通の生活が日々送れる様にケアにあたり入居者様の個性を活かし楽しんで頂く様に配慮している。また、入居者様のご家族・友人・近所の皆様の面会の折、職員が対応する中で情報交換・地域の皆様・高齢者様などの様子も伺い共有していくよう努めている。		
3.理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回は、運営者・管理者・全職員が評価の意義、目的を理解し全体で取り組むことが出来た。全ての項目、改善課題を具体的にし一体感を持ち検討にあたった。		今後も全職員で取り組み最大の効果を得ていく。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	各分野の専門委員・運営者・役職者によって2ヶ月に1回の委員会を実施している。現状報告・行事報告・前回課題などの報告に対してアドバイスを頂き議事録に残している。月1回の全体会議で報告し、サービス向上の実践につなげている。		今後も継続していく。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	相談事があれば、市町村の担当者や連絡を取ったり訪問したりしている。また、行事の際は行政に案内を出したりして、行き来する機会をもっている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員全体会議に、講師を招き苑内セミナーを実施した。また、広域主催のセミナーに運営者・役職者が参加し今後必要とする方に支援出来る様に努めている。また、パンフレットも常備している。		今後も必要な方に支援できる様、積極的に研修の機会を持ち知識を深めたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアル化することにより虐待に繋がる行為の防止はもちろん入居者様・ご家族の不安や心配が少しでも軽減するためにコミュニケーションを怠らない様気を配っている。職員全員に徹底するようミーティングにて確認している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだし解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書・重要事項説明書を、読み進め項目ごとに疑問を尋ね答える様にし、納得してサービスを受けて頂ける説明を心がけている。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入所者様からの意見・不満・苦情は、職員や運営者に相談し出来る事・出来ない事を伝え改善点などは運営に反映させる様にしている。また、相談介護相談員を受け入れ、入居者様が第三者へ会話が出来る機会を設けている。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>2ヶ月に1回朝日苑便りを作成し、手渡しまたは、郵送して日々の生活をお知らせすると共に、連絡ノートを作成し面会時に日常生活の状況や近況・行事案内を報告し、緊急時には電話連絡を行っている。金銭管理については、出納帳をつけご家族に報告を行っている。</p>		<p>ご家族への伝達不足もあり、もっと連絡事項をきちんと誰でも説明できる連絡体制を確立したい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱の積極的な活用を促すため、ご意見・ご要望書の書式を改め、ご家族に送付するなどして寄せられて内容を検討し運営及び体制の改善やサービスの向上に努めている。</p>		<p>ご家族が、意見や要望を述べやすい様に面談時の雰囲気づくりに努めたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月の各棟ミーティング、全体会議を欠かさず行い要望・意見・改善点などを全職員が共有出来る様になってきた。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員の公休希望または、夜勤回数も加味し入居者様の急変時・状況変化時にも対応できる勤務体制に作りこみに努めている。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>やむをえず、移動があった場合は、新しく配置された職員には業務の流れの申し送りを徹底し、入居者様の把握に努め介護の統一を図り入居者様のダメージを最小限にし介護に乱れがない様に努めている。</p>		<p>業務の流れや入居者様の状態に関する申し送りを徹底し、介護にズレが生じない様に努めている。また、併設の小規模多機能型居宅介護の職員が夜勤を行う場合も同様である。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5.人材の育成と支援			
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>運営者・管理者などで採用にあたっているが、その人の人柄や熱意など考慮し採用にあたっている。また、意見を述べやすい配慮もしている。</p>	
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>月1回の各棟ミーティング 全体会議にて入居者様に対する接し方について話し合い運営者からも指示を頂いている。</p>	
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内にて、数名の職員が受講し研修で学んできたことをその都度研修報告書にまとめ、全体会議にて発表し質問や意見を通し職員全員が活かして行くよう取り組んでいる。</p>	<p>今まで以上に、色々な研修に参加していきたい。</p>
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>介護保険広域連合会主催の事業所連絡会に参加し意見交換の機会を持った。また、筑後地区ブロック研修会の参加や施設見学も2回程行い参考にしている。</p>	<p>今後は、交流を通じ、職員の質の向上を図る。</p>
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>業務に関する注意事項や職員の意見などは、星棟ミーティングにて全員で検討し現場での改善が難しい場合は運営者に相談し解決に向けて取り組んでいる。</p>	
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている</p>	<p>お互いに思いやる気持ちを持ち続ける事が、お互いの信頼感を強くすること。何が出来ないより何々が出来たと良いことをより大きく評価していくこと。事実を正しく把握することを指導している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>心身の状態に気を付け、アセスメントで情報収集を行い入居までに本人様に合ったサービスや環境作りが出来る様に取り組んでいる。</p>	
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談の段階でご家族と話し合い、ご家族の気持ちの不安・意向を十分に訊き、本人様に何が必要かを見極め、それぞれの思いを受け止め把握する努力をしている。</p>	
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談があった場合、本人様及びご家族の要望や意向を伺い「今、何が困っているのか。」を見極めフォーマル・インフォーマルのサービス利用を含め対応している。</p>	<p>相談内容によって朝日苑で対応できない場合は、地域包括支援センターや他の事業所のサービスを紹介するなど支援する。</p>
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>開苑2年目となり苑の雰囲気にも馴染まれ入居者様と職員間においても喜怒哀楽を受け止め信頼関係が築かれている。本人様・ご家族からの要望などにも配慮している。</p>	
2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり支えあう関係を築いている</p>	<p>日々の暮らしの中で、おやつ作りや工作またゲームをして共に笑ったり、或いは外出して、その時の季節を感じて頂いたりしながら入居者様一人ひとりと関わっている。また、暮らしの知恵など教わることもあり支えあう関係が築かれている。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が訪問された折、職員が本人様の日々の暮らしぶりや問題点など話し協力して頂ける部分があれば協力して頂き、ご家族と共に支援できる様に心がけている。また、花見・夏祭り敬老祭・クリスマス会・餅つきなど行事に、ご家族の参加を呼びかけ入居者様と一緒に楽しんで頂いている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるよう支援している	ご家族と本人様の思いや気持ちを理解して、お互いの思いが分かり合える様に心がけている。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている	馴染みのお寺の住職様より 月命日にお参り頂いたり 電話や手紙でも知人との交流が途切れない様に支援している。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わら合い、支え合えるように努めている	みんなでレクリエーションをしたり 個別に会話をしたり 孤立しない様に職員が気を配り楽しく過ごして頂く様に支援している。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居された後も、ご家族からお花やお菓子など頂くこともあり 他の入居者様も喜ばれている。また、亡くなられた場合は、初盆などお参りに行くようにしている。		今後、退居されたご家族にも行事など声かけを行い交流を図る様に心がけていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わり合いの中で声をかけ“何をしたいのか。どの様に過ごしたいのか、”意向や思いを把握し対応している。また意思疎通困難な方は、ご家族からの情報を得る様に努めている。</p>	<p>本人様の希望される事や意向を大切に、その思いが達成出来る様に更に検討していきたい。</p>
36	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご家族からの情報収集と入居者様との日々の生活の中で得た一人ひとりの生活習慣や趣味を教えて頂きサービスの提供に役立っている。</p>	
37	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>その日の体調により ラジオ体操やレクリエーションに参加して頂き、入浴時間も希望に沿う様に対応している。また、安心と安全を保ちながら、その人らしく生活して頂く様にその方の情報把握に努め、その人らしく生活して頂く様に残存機能を活かしたケアに心がけている。</p>	<p>生活歴や趣味に応じて、洗濯物を干したりたたんだり植木屋 プランターの水やりなど手伝って頂きます。今回じゃが芋作りに取り組み草取りなどの手伝いをして頂き収穫後は料理に使用したい。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>個別に介護計画を作成しケアカンファレンスで検討している。本人様やご家族の要望がそれぞれある場合も、職員で検討し本人様に適した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様の生活リズム、本人様にとって何が必要か、望んでいる事は何かなど職員が一体となって検討し、それぞれの気づきやアイデアを反映した介護計画を作成していきたい。</p>
39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画が実践できたか3ヶ月ごとにケアカンファレンス及び見直しを行い継続的にフォローしている。また、本人様に状態変化があった場合は、現状に沿った対応 計画作成を行って行っている。</p>	<p>状態の変化を見逃さない様に、気づきを大切しより良い介護計画としていきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員がケアにあたった時の様子を個別記録に記入し、申し送りを行う事で他の職員も統一したケアを行うことが出来、それを基本とし介護計画に反映している。		記録の記載内容などが不十分な部分があり、記載方法の統一や、記入した以外の人が見ても分かりやすい記録となる様に取り組んでいきたい。
3.多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人様やご家族の要望を活かすため、併設している小規模多機能型居宅介護施設でのレクリエーション参加や入浴及び機能訓練室にある各器具を利用したりして、個人にあった支援を心がけている。		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を2ヶ月に1回行い一つ一つ運営推進会議との協働は順調に行われている。ボランティアとして、しめ縄作りや保育園の慰問を受け入居者様から喜ばれている。消防署から年2回の消防訓練に立ちあって頂いたり、消防署主催のセミナーや防災期間の夜回りの参加している。		区長を通して大木町へ申請して頂き年内には苑前の道路が舗装される予定である。それによって入居者様の外出もより快適に出来ると思っている。
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人様やご家族の意向を中心に、他のケアマネジャーや地域以外の事業所と連携を図りながら支援している。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターから入居者様の紹介を頂いています。受け入れ困難な事例については、その旨を伝え共に検討している。		事業所のみでは解決困難な状況に応じて地域包括支援センターに相談・助言を求めています。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様及びご家族が希望する医療機関に以前と変わらず受診出来る様に支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	経営母体である松本医院により、診断、治療して頂いているが、入居者の状態変化やご家族の希望によっては認知症専門医の紹介を行っている。現在、久留米大学付属病院の神経内科を受診されている方がおり、認知症の薬の処方など専門的な治療を受けている。		これからも必要であれば専門医による支援をお願いしていきたい。
47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎日のバイタル測定や日常的な心身状態や健康管理を行い、少しでも変化があった時や疑問点は看護師に報告しています。状態変化時の連絡体制も出来ている。		
48 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された際は、病院のソーシャルワーカーや看護師と情報交換を行い、出来る限り面会に伺う様に心がけ、状態把握に努める様にしている。		
49 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化やターミナルケアについては、本人様及びご家族の要望に沿ったケアが行える様に医師・管理者・ケアマネジャー・職員・家族で話し合っている。		
50 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	これまでに、2名のターミナルケアに立会い、医師・看護師・職員・家族がチームとして協議し、今後の対応や方針を共有して取り組む様にしている。		ターミナルケアに関する学習会を開き、職員の知識向上に努めたい。
51 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移住する際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族の意向やケア関係者より情報提供を受け、本人様に混乱なく住み替え、場所に馴染んで頂く様に努めている。また、別の居所に移住する際も同様である。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1.その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録、個人データについては個別のファイルを用意し保管している。日々の関わり方を月一回のミーティングで話し合い、入居者様に対し、常に尊敬の念を持ってプライバシーを損ねぬよう対応している。</p>	<p>名前、写真等の記載については本人、ご家族より同意書を頂いている。</p>
53	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたりわかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたい納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者様の要望に対しては、把握、理解するよう努めている。入居者様一人ひとりの状況に合わせて本人様の自己決定を支援している。</p>	<p>個別対応の時間をより充実させたい。</p>
54	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースに合わせて支援している。買い物や散歩など希望に沿って支援している。要望に関して入居者様の生活リズムなどに支障ある場合、分かりやすく説明している。</p>	<p>畑を作っており、室内活動だけでなく、外での活動時間も取り入れている。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>毎月の訪問美容で対応している。現在の訪問美容にて入居者様の要望に沿った支援ができています。</p>	<p>日常的、外出時、整髪はもちろん、お化粧品なども取り入れていきたい。</p>
56	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者様の意思を尊重し、買い物・調理・盛り付け・後片付けなどを職員と一緒にしている。職員は同じテーブルを囲んで同じものを一緒にいただき、2～3ヶ月に一度、入居者様の希望を取り入れ、外食や出前を利用している。</p>	<p>苑の畑でとれた野菜を入居者様と一緒に収穫し調理をしながら手作りのおやつと一緒に作って頂く。</p>
57	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>入居者様が自宅におられる時と同様に楽しめる様に好みの物を献立・おやつに取り入れる工夫をしている。入居者様又は職員に対して食事に関するアンケートを施行し活用している。</p>	<p>入居者様と職員で近くのスーパーに買い物に行き、好きな食料品等、好みのものを買ってもらう様にする。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居者様の排泄の失敗を減らす為、時間を決めてのトイレの声かけ、リハビリから布パンツに変更して排泄感を戻してもらっている。便秘の時は医師から薬の指示を仰いでいる。		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者様の毎日の入浴を基本とし、清潔を保っていただいている。しかし、入居者様の状態(熱・風邪など)入居者様の習慣(2日に1回しか入られない)などに応じて入浴されない日も出てくる。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	馴染んだ道具(ベッド・まくら・布団)などを希望があればご家族に届けていただき、一人ひとりの生活パターンに応じて(口腔ケア後、テレビを見られたりトイレ誘導や水分補給、体位変換を行い、安心して一日を過ごしくっすり眠れるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者様各自の可能な範囲内で苑の畑で野菜作り野菜の収穫・おぼんふきや洗濯物干しなどや天気が良ければ散歩や苑内の植物の水やり、近くのスーパーに食材を買いに行くなど楽しみを支援している。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	常時、管理者がおこづかいを預かっており、おこづかい内で入居者様の日常雑貨品や好きな食べ物を一緒に買いに行ったりしている。おこづかい帳の管理もこまめに行っている。		今後、入居者様に常時お金を所持して頂き、そのお金で買い物をしていただくよう取り組んでいきたい。
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望全てに沿うことは出来ないが、入居者様を2名ほど連れて買い物に行ったり、暖かい日など皆様一緒に苑の周りを散歩したりしている。		今後、計画を立て入居者様の一人ひとりの希望に応じて外出できる様取り組んでいきたい。
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している	行事計画を立て、ご家族参加のバスハイクや他の入居者様と一緒に季節に応じた場所(ふじ見学・八女人形会館)への見学や好きな食べ物を食べていただくよう外食への外出支援をしている。		今年は、遺跡の見学バスハイクや桜の花見バスハイクをご家族と共に行った。これからも、四季折々にドライブや外食などの外出支援をしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の希望に応じて電話や手紙を気軽に出せるよう支援している。1月に1～2回のペースでご家族に電話連絡している。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問できる雰囲気を心がけている。他の入居者様に気兼ねなく過ごしてもらえるよう居室や訪問者用スペースを整えている。		
(4)安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関するマニュアルを作成している。拘束対象を理解し、職員間で話し合いをし、そばに寄り添った見守りを行い拘束をしないでのよい体制を努めている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。散歩や外出などの声をかけたり一緒に歩いていくなど実施している。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は同じフロアで記録などを行いながら全員の状況を把握できる様に努めている。夜間は数時間毎に入居者様の様子を確認している。起きられた時すぐに対応できる様に入居者様一人ひとりの安全に配慮している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	生活感を実感できる雰囲気を大切にしている。石けん・シャンプーなど必要な物品は手の届きやすいところに置き、見守りに努めている。はさみ・爪きりなど危険性のあるものは必要に応じて見守りの上、使用して頂いている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ひやりはつとを記録し、職員間の共有認識を深める。事故が発生した場合、報告書を作成し、ご家族への説明を行っている。		今後、月に一度一人ひとりの状態を報告し身体面・認知・行動障害などから考えられるリスクなどについての勉強会を実施していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時、事故発生時の対応マニュアル作成している。現時点では定期的な訓練は行っていない。急変時の医師・看護師への夜間連絡体制はできている。		救急手当や蘇生術の研修に参加し全職員が対応できる必要がある為、定期的に訓練を行ってきたい。
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を実施し、消防署との連携をとって全職員が災害時の対応が出来る様に努めています。また、防火設備のメンテナンスを定期的に受けています。防火週間には、地域の夜回りに参加している。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	苑外活動や自由な外出により安全を確保しながら抑制感のない暮らしが入居者様の表情を明るくし、行動の障害を少なくしていることをご家族に説明している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し対応に結び付けている	食欲や顔色などに変化がみられた時は、バイタルチェックを行い状況により医療受診をしている。管理者に報告し、職員間でも申し送り徹底して対応している。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は、間違いがない様に、薬局で1包化にして頂き日付・氏名・服薬時まで記入してもらっている。服薬管理は、朝日苑の経営母体である松本医院にて管理して頂いています。また、薬の目的・副作用などは、薬処方をカルテに綴じ分かる様にしている。		誤薬などが起った時の対応は、松本医院に報告し、指示を仰いでいる。
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表を作成し、毎日観察している。繊維の多い野菜を多く取り入れ、散歩などの軽運動を余暇活動にも取り込み便秘予防に努めている。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨きの声かけを行い、一人ひとりの力に応じた歯磨きの手伝いを行っている。就寝前に義歯を週1~2回義歯洗浄剤につけ込んでいる。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の専門的なアドバイスにより、栄養摂取量には問題ないが、油分が多いと指摘を受けそれに伴いドレッシングは、ノンオイルに変え、揚げ物は控えるよう改善した。食事やおやつ時はもちろん10時・15時・風呂上りに水分補給また、夜中に喉が渇く方がいるので楽のみやペットボトルにお茶を常備して水分補給をして頂いている。		嚥下の悪い人、歯の悪い人の為にミキ食・一口大食・ミキサー食を作り嚥下が悪い場合はトロミ材でトロミをつけ食べて頂く。毎月、体重を量り食事量を調整していきたい。
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザやノロウイルスなど感染症が地域発生している時期は、玄関に貼り紙をして発熱・嘔吐・下痢・咳のある方の訪問を控えてもらう様をお願いしている。また、朝日苑で起り得る感染症(ノロウイルス・インフルエンザ・疥癬・MRSA・O157)のマニュアルや、感染予防から感染後の連絡体制のマニュアルを作成し、全職員が予防対策に努めている。		ノロウイルス予防の為、入居者様に二枚貝を提供しない様にしていると共に、全体ミーティングでは、職員が二枚貝を食べることを控えるように指導したり、来苑者の方もアルコール消毒をお願いしている。
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的に冷蔵庫内の清掃・まな板の漂白を実施し、まな板や包丁は調理前の肉・魚、野菜用と調理後それぞれ区別している。肉・魚・卵の中心温度(79以上)を計って調理後2時間以内に提供している。また、食中毒が発生した場合に備え検食を取り14日間冷凍保存している。		生野菜は、次亜塩素酸で消毒して提供し食品は開封後に日付を記入して賞味期限に関係なく早めに使う様にしている。また、中国産ギョーザ事件に伴い苑で使用している食材をリストアップし食材を見直し中国産の品物に代わり国産を使う様にしている。
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りでは、車椅子の方でも安心して出入りできる様にバリアフリーが施されています。また、花植え・植栽など定期的に清掃をして、美しく維持する様に努めています。外苑には、畑やビニールハウスが見え季節感を感じる事ができる。		園芸委員の活動により、花植え・植栽をしています。畑が設置され、農作業を行い今後も季節の野菜を植え収穫して行きたい。
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないよう配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間・食堂など皆様と一緒に過ごされる場所は窓の高さや大きさを工夫しまたは天窓をつけて落ち着いた明るさが保たれるよう配慮されています。更に毎月、その季節に合った飾付けをして季節を感じてもらえる様にしている。		玄関・廊下に入居者様の手作りされた作品を掲示していきたい。
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	安全性に配慮し、入居者様の皆様の意思を尊重し一人ひとりの思いを大切に考える様にしている。		各居室は、フローリングとなっているため慣れ親しまれて来られた畳の活用を考え居間に置ききのスペースを作りました。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、南向き・東向きがあり日当たりが良く全室エアコン・クローゼットが完備されています。また、一人ひとりで使い慣れたベッド・タンス・テーブルなどを持参して頂き入居者様の思い通りに居室作りをされている。		
86	換気 空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	建物の中は、高換気システムを取り入れているために、居室の空気は数時間で入れ替わるようになっており湿度や温度がある程度一定に保たれる様に配慮されています。また、定期的に換気空調の清掃を行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり バリアフリーなど安全面には配慮し手すりは、機能訓練にも活用しています。少しでも危険な場所があれば、職員で話し合い安全な環境に出来る様に工夫している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個人の能力に応じて洗濯 掃除 野菜の皮むき・買い物などの活動に参加して頂ける様に支援している。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで活動できるよう活かしている	建物の周りには、入居者様と植えた花があり職員と一緒に水やりや手入れを行っている。また、畑もあり種植えや収穫などを楽しんでいる。積極的に皆様と取り組んでいます。ベランダは、気候の良い日に日光浴やおやつを食べたりと気分転換に活用している。		

.サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に をつけてください。
90 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の
	利用者の 2/3 くらいの
	利用者の 1/3 くらいの
	ほとんど掴んでいない
91 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある
	数日に 1 回程度ある
	たまにある
	ほとんどない
92 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が
	利用者の 2/3 くらいが
	利用者の 1/3 くらいが
	ほとんどいない
93 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が
	利用者の 2/3 くらいが
	利用者の 1/3 くらいが
	ほとんどいない
94 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が
	利用者の 2/3 くらいが
	利用者の 1/3 くらいが
	ほとんどいない
95 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が
	利用者の 2/3 くらいが
	利用者の 1/3 くらいが
	ほとんどいない
96 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が
	利用者の 2/3 くらいが
	利用者の 1/3 くらいが
	ほとんどいない
97 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と
	家族の 2/3 くらいと
	家族の 1/3 くらいと
	ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くない	
100	職員は、生き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の 2/3 くらいが	
		職員の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の 2/3 くらいが	
		利用者の 1/3 くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の 2/3 くらいが	
		家族等の 1/3 くらいが	
		ほとんどできていない	

【時に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様は、朝日苑ここが我が家です。欲しいものがあれば、ごく普通に町へ出かけ買い物をする。散髪したい人は、希望される美容院や理髪店へ送迎したり、美容師さんに依頼するなど単調な生活にならない様に努めている。また、好物を食べに出かけたり、散歩に行き道で会った人と挨拶を交わしたり会話をするなど苑の生活にとどまらない生活環境作りを提供している。入居者様の生活範囲や行動内容を制限しない様に、状況に応じたこまめなケアにあたっている。